

さかお町議会

Vol.97
2024.3.1

発行 高知県佐川町議会
12月定例会号



第3回臨時議会・新組織体制... P2

12月定例会 補正・ピックアップ... P4

議会の活動（視察・研修）... P7

12月定例会：一般質問に8人... P8

二十歳の集いアンケート... P16

今回の表紙：姉妹都市北見市訪問団の来訪（P18）

令和5年 第3回臨時議会・新組織体制がスタート！

第3回臨時議会が11月2日に開催され、議案3件、報告1件を審議し、採決の結果、全件を可決しました。また、議長、副議長の選挙と各常任委員会等の委員の選任が行われ、議会の新しい組織が決定しました。

議長 松浦 隆起



春の日差しが、きらめく頃となりました。町民の皆さまにおかれましては、一層ご健勝のことと存じます。

さて、このたび、11月2日の臨時議会におきまして、議員各位より選任を頂き、議長に就任いたしました。身に余る光栄に感じますとともに、その職責の重大さに、身の引き締まる思いです。

コロナ禍という長いトンネルを抜け、光が見え始めた一方で、長期に及ぶ物価高騰により町民の皆さまの生活に大きな影響を与えております。

議会としても、こうした大きな課題へ向けては、一丸となって取り組むべきであると考えております。

そういった意味からも我々議会に課せられた責任は重く、これからも住民の皆さまの目線に立ち、住民の皆さまに寄り添い、日々の研鑽と努力を重ね、信頼される議会を目指し、全力で取り組んでまいります。一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

副議長 田村 幸生



十一月開催の臨時議会において、議員の皆さまのご推挙により、私を副議長に選出いただき感謝申し上げます。

この責任あるポジションに就けることは大変光栄であり、また、身の引き締まる思いです。

議会でのこの役職は、私にとって大きな挑戦であるとともに、努力していく新たな機会でもあります。

私の目標は、公正かつ透明なプロセスを通じて、佐川町発展と住民の暮らしに寄り添い、ともに成長し、より良い地域を築くために力を合わせることです。

これからも、協力とコミュニケーションを重視しながら議長を盛りたて、スムーズな議会運営と佐川町の繁栄に寄与できるよう、全力で努めてまいります。ご支援よろしく申し上げます。



産業厚生常任委員会

【委員長】 永田耕朗
 【副委員長】 下川芳樹
 【委員】 岡村統正
 坂本玲子
 宮崎知恵子
 山本和輝
 岡林哲司



総務文教常任委員会

【委員長】 齋藤 光
 【副委員長】 橋元陽一
 【委員】 藤原健祐
 松浦隆起
 森 正彦
 西森勝仁
 田村幸生

国道494号佐川バイパス 整備促進特別委員会

【委員長】 森 正彦
 【副委員長】 坂本 玲子
 【委員】 松浦 隆起
 宮崎 知恵子
 橋元 陽一

議会運営委員会

【委員長】 藤原 健祐
 【副委員長】 岡林 哲司
 【委員】 永田 耕朗
 岡村 統正
 下川 芳樹
 橋元 陽一

日高村佐川町 学校組合議会議員

松浦 隆起
 下川 芳樹

高吾北広域町村 事務組合議会議員

藤原 健祐
 岡村 統正
 坂本 玲子
 松浦 隆起

議会広報編集委員会

【委員長】 岡林 哲司
 【副委員長】 山本 和輝
 【委員】 橋元 陽一
 田村 幸生
 齋藤 光

任期後半は以上の組織体制で佐川町発展のために取り組んで参ります。



さかわぐるぐるバスの運行に
 関する条例の一部を改正

川内ヶ谷線の 신설

1回の乗車につき200円

住民からの要望が多かった
 川内ヶ谷線の運行開始により、
 九反田～川内ヶ谷エリアの生活
 の移動手段の充実が期待される。



旧黒岩中央保育所の設置及び管理に
 関する条例の一部を改正

レーザーカッターの項目を削る

該当の機器はおもちゃ美術館へと移設され
 今後、ワークショップ等に利用される予定。



令和5年12月定例会

12月定例会は、12月8日から14日までの会期で開かれました。

令和5年度補正予算をはじめ一般職及び特別職の給与や報酬に関する条例の改正などの議案18件と、報告1件、承認1件、同意1件、発議（意見書）1件を審議し、採決の結果、全件を可決しました。

12月補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	3億737万円	91億6,121万円
国民健康保険特別会計	1,059万円	18億1,897万円
介護保険特別会計	464万円	18億6,794万円
後期高齢者医療特別会計	22万円	2億6,097万円
病院事業特別会計	1,178万円	20億6,528万円



児童発達支援、保育所等訪問支援サービス利用の増加に伴う補正。

2059万円

障害児通所等給付費事業

生活介護、共同生活援助、就労継続支援等のサービス利用の増加に伴う補正。

1964万円

障害者自立支援事業

国の補正予算による低所得者世帯への支援策。住民税非課税世帯へ7万円を給付するための費用。

1億4438万円

価格高騰重点支援給付金事業



施設園芸農業振興のため、JA高知県が実施する高強度ハウス整備に対する補助金。

4141万円

園芸団地整備特別対策事業



道の駅内の霧生園公園（仮称）の駐車場整備等に要する工事費の追加に伴う補正。

1683万円

佐川町道の駅事業



岡林 哲司

議会選出
監査委員

※適正な行財政運営が行われているか、定期的に監査します。

令和5年度
一般会計補正予算の質疑



西森議員

価格高騰重点支援給付
対応業務委託料249万5千
円について、具体的な説
明を求めます。
また山村振興費及び林
業振興の補助金の説明を
求めます。

スト処理を行って、デー
タセンターから遠隔で佐
川町に提供を受けるもの
である。

下八川産業振興課長

山村振興費は、集落営
農組織の活動を支援する
補助事業で、「農事組合
法人トピアとかの」の格
納庫整備である。

林業振興費は、おも
ちゃ美術館の木の玉10
00個の追加製作費であ
る。委託先は、高知県の
木製品工業連合組合であ
る。

議案72号
職員給与と条例の質疑



橋元議員

会計年度職員への人事
院勧告はどうか反映するの
か。
また勤勉手当の規定は
あるのか。

片岡総務課長

佐川町一般職員の給与
に関する条例を適用する
こととして、期末手当の
支給割合を10分の5引き
上げる。

勤勉手当は現在支給さ
れていない。総務省から
R5年10月20日付で地方
自治法の一部改正で、勤
勉手当を支給する通知を
受けて、R6年3月定例
会に条例改正案を提出す
る。

11月2日閣議決定した
非課税世帯に7万円給付
するシステム改修費であ
る。概算の予算要求を再
度見積もりをして138万6
千円になった。委託先は
本庁の基幹システムの委
託業者RKKCSであ
る。基準日の12月1日時
点の住民基本台帳と課税
の情報を取り込む。もし
て過去の給付金支払い口
座を取り込み、この処理
機能を本社で作成し、テ



意見書

国・県にももの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

子どものための
保育士配置基準の
引き上げを求める
意見書

(提出者 坂本玲子)

保育所は、子育て家庭
を支える施設であり、幼
い子どもの発達を保障
し、いのちを守るために
不可欠な社会的資源に
なっています。
保育所の機能拡充がす
すむ一方で、職員配置や
施設基準の改善はすすま
ず、国際的にも低い水準
のまま放置され、職員の
負担が増大しています。

保育所での事故が増大し
ている状況などを踏まえ
れば、現在の配置基準は
不十分であり、子どもの
いのちと安全を守るため
にも保育士増員が急務と
なっています。

政府は、国が直面する
最大の危機である少子化
を反転させるとして「子
ども未来戦略方針」を
2023年6月13日に閣
議決定しました。その中
で、「75年ぶりの配置基
準改善」として、①1歳
児の子ども6人に対して
保育士1人の基準を5対
1にする、②4・5歳児
の基準を子ども30人に対
して保育士1人の基準を
20対1に改善することが
盛り込まれました。
この内容を踏まえ、国
におかれては、必要な財
源を確保し、下記の事項
について実現されるよ
う、強く要望します。
「子ども未来戦略方針」
に示した配置基準を速や
かに実施すること。

意見書への質疑

岡林議員

町内で保育士不足で子
どもが受け入れられない
状況もある。
必要なことは思う

が、仮にこの意見書が通
ればその状況は悪化す
る。そうならないために
は、同時に保育士の給与
アップなど待遇改善も求
める意見書に見直してか
ら出すのが望ましいので
は。

答 坂本議員

保育士不足の状況は理
解している。処遇の改善
は今までも求めてきた。
子どもの数に対する保育
士の数が劣悪な条件で子
どもの命が守れない。全
部を一遍にやればもちろ
んいいが、この件はす
めたい。

佐川町の保育士が集ま
らない理由は正職採用を
しないため、本来必要な
数を正職員として採用す
るよう町に求めていき
たい。

議員各位の意思表明

賛否表（令和5年第3回臨時会：11月2日） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
令和5年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
さかわぐるぐるバスの運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○
旧黒岩中央保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○

議員各位の意思表明

賛否表（令和5年12月定例会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和5年度佐川町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
子どもたちのために保育士配置基準の引き上げを求める意見書	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	●	●	●

産業厚生委員会

【国道494号工事現場視察】

産業厚生常任委員会
の主管で、10月4日に
国道494号工事現場の視
察を行いました。須崎
側からのトンネル工事
が開始されています。
トンネル内の道路勾配
は、3%の勾配で設定
され、佐川方面に抜け
てきて、トンネルから
橋梁につないでいく計
画です。



【新産廃本体施設建設工事 場の視察】

新産廃本体施設建設工
事現場の視察は、日高工
コサイクル高知佐川事務
所で、説明を受けました。
工事現場に設置された4
か所の定点カメラと、作
業員休憩所および建設現
場に設定された移動カメ
ラの映像を事務所のモニ
ターTVで見ながら、植
田所長から工事の進捗状
況の説明を受けました。



北見市姉妹都市提携 35周年

姉妹都市提携35周年を
迎え、昨年8月、佐川町
から町長と議長はじめ、
執行部や議員、町民代表
など20名が北見市を訪問
しました。続いて、今年
1月24日～26日、北見市
辻直孝市長、飯田修司議
長はじめ、執行部、市民
代表の17名の皆さんが来
訪されました。

24日には歓迎交流会、
25日には文化センター大
会議室で記念式典と交流
会が開催され、斗賀野の
子どもたちによる白倉神
社の花取り踊りが披露さ
れました。記念品の交換
も行われ、明治時代から
合えた姉妹都市として、
これからも子どもたちの
訪問交流などを通して、
姉妹都市交流を続けてい
く意義を確信し合える機
会となりました。



議員視察研修

【岡山県奈義町】



出生率2・95を記録し
たことがある岡山県奈義
町では、切れ目のない子
育て支援事業の説明の
後、住民参加で相互的に
支援しあえる環境づくり
に取り組んでいる現場を
視察しました。

【鳥取県日南町】



4県の県境に隣接する
鳥取県日南町では積極的
な空き校舎の活用の現場
を視察しました。コンパ
クトシティとして、冬季
に中心部から外れた地域
で生活する高齢者が過ご
せる住宅や、レンタルオ
フィス、地域活性化のた
めに活動する団体による
運営など、積極的に活用
されていました。

【岡山県早島町】



平成24年3月定例会よ
り、議会議中継を開始した
早島町議会にて、議中
継開始からの経過と、今
後の改修予定と、新しい
技術の取り入れ予定など
を伺いました。

【今後も議会の活動や、
委員会での調査などの報
告を議会活動の報告とし
てお知らせします。】



坂本 玲子 議員

問 地球温暖化防止のため ゼロカーボンシティ宣言を

答 R6年3月に宣言を出す

問 地球温暖化の進行により世界規模で自然災害が増加している。ゼロカーボンシティ宣言は2050までに二酸化



西佐川駅付近のメガソーラー

炭素の排出量を実質ゼロにすることを表明するものだ。
佐川町でもこの宣言を出し、どんどん推進して欲しいと思うがどうか。

山本町民課長

町としてはR6年3月に宣言を出す予定だ。宣言を出すだけでなく、より実効性の高い計画を作成し、全庁挙げて地球温暖化対策を推進していく。

問 子どもたちのため学校の断熱化を

答 検討を進める必要がある

問 第3次佐川町の地球温暖化対策実行計画(事務事業編)には公共施設の施設整備の改善や再生エネルギーの導入が必要だと書かれている。
学校の断熱化は二酸化炭素排出量削減のためだけでなく、子どもたちの健康や学習意欲にも繋がる。エアコン設置で電気料金は約2倍になっている。断熱をすることで冷暖房費が60%削減されるという記事もある。
学校の断熱化や再生エ



体育館の断熱化を

ネルギーの導入を前向きに検討してはどうか。

廣田教育次長

断熱化や再生エネルギー導入に関して、町の計画の中で方針があるので検討を進める必要があると考えている。

問 観光施設の洋式便所の温便座化を

答 修繕時に検討する

問 最近改修した観光協会裏の洋式トイレが温便座でなかったことに驚いている。この時世に温便座では無いのは恥ずかしいとの声もある。せめて観光施設や駅の洋式便座を温便座にすべきではないか。
洋式便所の温便座化に関しては職員の共通認識が出来てないように感じる。女性用トイレの混雑解消やジェンダー平等の視点を持った公衆トイレ

の設置基準を作ってはどうか。

田村副町長

温便座化は今後修繕が必要になったときに検討する。これからは設置基準を設けて、職員が共通認識を持てるようになっていきたい。



あたたかい温便座に



橋元 陽一 議員

問 新産廃施設南側斜面での地滑り（重力性変形）対策は

答 表層の崩壊対策や斜面観測を行う

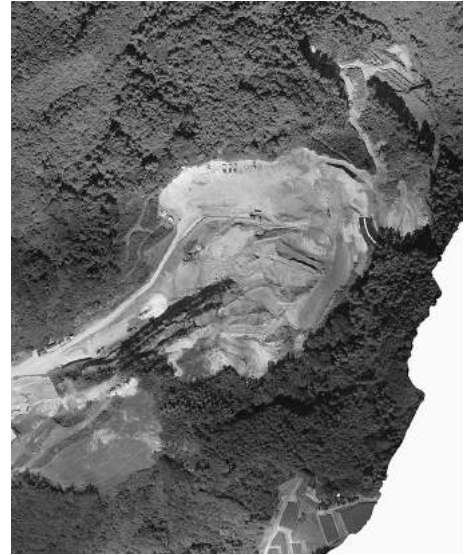
問 施設本体予定地の南側斜面で起きていて、スレーキングは、他の箇所でも起きているのか。さらに南側斜面で起きている重力性変形という

地滑りは、具体的にはどんなことが、対策工事のあり方は。

工法見直しなどで、予算が大きく変わった。総事業費とその財源や市町村の負担の内訳はどうなっているのか。

山本町民課長

スレーキングは、進入道路整備工事では確認されていない。処分場に近接した場所では予測されているが、大規模なものではなく鉄筋挿入工やモルタル吹付で対応できると聞いている。



地滑り対策を

重力性変形とは、重力の影響で長時間かけて下方向にゆっくり移動変形する現象で、表層の崩壊対策や斜面の動きの観測を行っている。追加安全対策等の実施で、総事業費が132・7億円に増額したことで、県負担金が58・15億円（＋13・8億円）、高知市が38・7億円（＋9.2億円）、他の市町村が19・38億円（＋4.6億円）になるとの説明だ。

問 子どもの成長・発達を危惧する事態への対応は

答 家庭、PTA、学校、行政が連携して取り組む



メディア利用、計画的に

問 子どもたちの成長・発達を危惧する状況について説明を求め。また子どもの状況を踏まえ、どのように対応するのか。

濱田教育長

危惧する状況は乳幼児では睡眠時間が短いことや外遊び不足、小中学生ではゲーム・SNSなどのメディア視聴時間が多

く、家庭学習時間が少ないことだ。園や学校での親子ふれあい体操など、乳幼児期からの運動遊びの導入、行政は子育て相談の充実や体験学習の指導者養成など家庭・PTA・学校・行政が連携して総合対策をすすめる。

学級編成は、小中学校の設置基準をもとに定められている。佐川中学校では1年生の3学級編成を検討したが、加配教員を含めた教員の持ち時間数などでやむなく2学級になった。来年は、今の状況ですべての学年で3学級になる予定だ。

その他の質問
・コロナ感染症の5類移行後の感染状況と対応について



山本 和輝 議員

問 人口減少に伴い空き家の実態把握

答 空き家数は、約1,000戸

図 空き家増加は地域経済を低下、地域社会の弱体化を引き起こす。住宅軒数や空き家住宅は軒数か。空き家の中で倒壊性

のある住宅の実態把握をしているか。
空き家の所有者への積極的な情報発信、事業紹介を所有者の副収入や空き家バンクの登録者数も増加につながるが伺う。

吉野建設課長

空き家率は約15%と推測し、平成30年時点の町内総住宅数約6千600戸、空き家数は約千戸程度と推定し倒壊の可能性家屋は、令和4年度で耐震性がある住宅3千720戸、耐震性がない住宅1千932戸、耐震化率は、約66%、約3分の1程度が耐震性を有する家屋と推定する。



増える空き家

問 町の防災の取り組みについて

答 老朽化住宅除去事業 上限164万5千円

安全ストック形成事業を活用し木造住宅耐震化事業、耐震診断、耐震設計、耐震改修工事、ブロック塀改修事業、老朽住宅除却事業は、補助金の上限が164万5千円で、国が2分の1、県と町が4分の1となる。

片岡総務課長

防災支援事業、コミュニティ助成事業を活用し防災資機材を防災倉庫に保管・管理している。ソーラーパネル付き防犯灯は緊急避難場所、公民館の敷地や自主防の備品の倉庫の近辺に設置も考えられる。

図 地震や自然災害など、いつ起きてもおかしくない。南海クラス地震が発生した場合、町から地域避難所また避難場所の各部所に外部充電可能単独ソーラーパネル設置を検討し都市構想再編集中支援事業、再生整備計画事業をハード面などのように活用しているか伺う。

吉野建設課長

補助は、社会資本整備総合交付金、住宅建築物



問 役場内のあいさつの取り組みについて伺う

答 実施できていない

ているように感じる。
コミュニケーションや社会性に課題があり、配慮の必要な子どもたちが増加することにつながっているのではないかとこの疑念も持つ。
学校教育ではあいさつを励行し、各ご家庭での家庭教育にも一層あいさつを勧めていきたい。

片岡総務課長

全職員に浸透するまでに至っていない。あいさつから始め、住民の方と積極的にコミュニケーションをとっていくと意識づけは難しく具体的な取り組みは実施できていない。

図 教育の観点から、あいさつは個々の成長や学習環境の向上につながるが、教育長の考えを伺う。
執行部には以前に質問したが、その後のように役場内であいさつの取り組みをしているか詳細内容を伺う。

濱田教育長

コロナ対策で人を避けて通るような状況が続く、人と関わる事が苦手な子どもたちが増加し



明るく、あいさつを



下川 芳樹 議員

問 投票率向上は知恵を出し合う努力を

答 関係者の協力・意見を聴き進める

問 昨年9月に町内の投票率向上の関する質問をした。



投票率向上を

本年11月の知事選挙では前回よりも9・73ポイント低い44・41%であった。町内投票率向上への取り組みは町の選挙管理委員会だけの問題でなく、行政や議会、教育委員会が知恵を出し合い努めるべきだ。

片岡町長
選挙事務局としても選挙や政治に関心を持てる取り組みを、議会議員や教育委員会始め関係者の協力・意見を聴きながら、少しでも前に進めることが出来ればと考えている。

問 町の人口減少と空き家の活用

答 若者定住の取り組みと空き家制度発信

問 2050年には日本の総人口が25・5%減少する予測が出ている。佐川町の人口減少対策と空き家の活用状況について問う。

岡田まちづくり推進課長
人口移動がそのまま続くと、2050年の佐川町人口予測は7千41人、出生者数の減による自然減と若い世代の転出による社会減が進んでいる。

若者の流出を抑え、流入数を増加させるため、若い世代に対する取り組みが重要だと考える。特に若い女性が活躍できる職場や、地域が一体となった若者定住への取り組みを進めたい。



空き家の活用を

町内の空き家は千戸程度と推測される。空き家バンクの制度に関する情報発信や里帰り住宅の整備についても検討していく。

問 らんまん終了後の観光客、具体的な考えは

答 今後も様々な事業を計画している

問 朝ドラらんまん終了以降の、町内観光施設への集客状況はどうか。観光客の継続的な流れを維持する具体的な考えはあるのか。

岡田まちづくり推進課長
11月に入り観光客数は若干落ち着きを見せている。らんまん効果で町に来た人がリピーターとして再度来るよう、今後も様々な事業を計画している。

1月下旬からバイカオウレンが見ごろとなり、町内3カ所の群生地を周遊する準備を進めている。牧野公園や道の駅、上町をつなぐスタンプラリーも勧めたい。



見頃をむかえたバイカオウレン

片岡町長
2025年前期にはやなせたかしを題材とした、朝ドラ「あなぼん」の放送も決定した。県関係市町村とも連携し、らんまんの時と同じように観光客の誘致とPRに努める。



齋藤 光 議員

問 標準を200時間超える授業時数どう考えるか？

答 権限は校長にあるが、必要であれば指導助言していきたい

問 全国9702名の教員を対象としたアンケートでは、1日の平均休憩時間は小学校の教員で1日9分、中学校の教員で13分という結果だった。そして4割の教員が、

1日の休憩時間はゼロだということだった。

国が定める一年間の標準授業時数を超えた授業コマ数である余剰時数が200時間を超えている学級も佐川町にあるということだが、標準授業時数を超えた授業編成は問題なのか。

また教員は勤務時間内に授業を準備する時間は確保できているのか。

濱田教育長

教育課程編成の権限は校長にあるが、標準授業時数を大幅に超える場合については、教育委員会

による指導助言の範囲になる。

標準に近い範囲で子どもたちの実態に合わせて各校で最適の授業時数を計画することが望ましいと考えている。

業務の適正化と、子どもたちの負担が重すぎないというこの二つの観点から、今後必要に応じて学校に指導助言をしていきたい。

教員は時間がある限り子どもに接して授業をしたいと思っているので、授業準備が苦になっていくという声は今のところ聞いている。

国が定める標準授業時数の表

小学校	国が定める授業時数(年間)	中学校	国が定める授業時数(年間)
1年生	850時間	1年生	1015時間
2年生	910時間	2年生	1015時間
3年生	980時間	3年生	1015時間
4年生	1015時間		
5年生	1015時間		
6年生	1015時間		

(文部科学省より)

問 教職員の残業実態どうなっているのか？

答 過労死ライン80時間前後を超える残業をしている教員 約10%

問 現在、教職員の残業時間はどのような実態になっているのか。また佐川町として教職員の働き方改革として今後どのような取り組みをしていくのか？

濱田教育長

令和4年度106名町内に教職員がおり、45時間以上の時間外勤務が1カ月以上あるものが64名で約60%。一般に過労死ラインとされる80時間前後を

超える時間外が複数月あるものが11名で約10%。この10%は中学校の教員だった。

その主な内容は、教材研究など授業準備に加え、生徒指導関係と保護者対応などのために家庭訪問等が負担になっている。また中学校では、放課後と休日の部活動指導と試合への引率が大きく占めている。

このため令和元年以来、学校業務のスリム化最適化を施策として、土曜授業日を廃止し、各行事の精選と、部活動のガイドラインの確認と遵守を進めていく。また現時点でも家庭との連絡用にメールの一斉送信システム「すぐーる」を導入するなど、ICT技術の活用など可能な限り、業務改善に努めている。

長時間労働と過労死ラインについて

1か月あたりの時間外労働	業務と発症(健康障害)の関連性
45時間まで	低い
45時間を超える	徐々に強まる
発症前2か月ないし6か月に80時間超	強い
発症前1か月に100時間超	強い

(厚生労働省より)



宮崎 知恵子 議員

問 森林伐採や造成工事等で保水効果が低下し、土壌災害を誘発、コスト面でも夜間発電はできず、天候の影響をうけるため供給は不安定そのため

バックアップ電源や蓄電設備、送電線の整備など予想に反し、コストがかかる。買い取り価値も国民全体で負担する再エネコスト賦課金は個人も企業も電気代が今後増大するし、毒性の強いカリウム、ヒ素、鉛、カドミウムが含まれ、土壌汚染の心配。パネルの輸入の8割は中国製でウイグル自治区で強制収容され強制労働、虐待など行われている。これらの認識

問 太陽光発電メガソーラーの問題等の認識はあるか

答 現在は想定していない



太陽光発電施設

はあるか。福島のようにノーモアメガソーラー宣言の予定はあるか。

岡田まちづくり推進課長 有害物質が流出すると想定されているが、国の認定を受け、運用しているのは現在では想定してない。宣言する予定はない。

問 山林管理で倒木被害防止の取り組みは

答 盛り込む予定はない

問 いつから、どのような契約か。山林の倒木による近隣地に被害が出た場合の対応また森林保険の活用、倒木被害の防止の取り組み、補助金制度、倒木被害の防止の取り組み、補助金制度や倒木被害を防ぐ条例の導入を町として取り入れる考えはないか。

下八川産業振興課長 佐川町の契約している森林において森林整備をどう進めるかという内容の契約なので、損害が第三者に対して起こった場合でも盛り込む予定はない。

問 行政における人としての在り方、考え方を問う

答 職員の健康維持に取り組む

問 この数年の選挙や行政の目的が誰かを追い落とす行動に見受けられる。人は自分の上に争いを置きたくはない。

政治や行政の場は世の中を、人々の心を明るく幸せにししていく提案の場で、利害や争いの場ではないが、全国的にも職場の苦痛、相談の件数は過去最多である。佐川町の取り組みは。

片岡総務課長

昨年11月よりハラスメントに関する外部の相談窓口を設置、今年11月から心療内科と精神科がある病院と委託契約をし、職員の心の健康維持に取り組んでいる。

その他の質問
・焼酎蔵の利用活用について



働きやすい職場に



田村 幸生 議員

問 県中山間地域再興ビジョンへの町の計画・方向性

答 県や近隣町村と連携し対策を講じていく

問 令和6年度から始まる「高知県中山間地域再興ビジョン」に対し、町はどのように取り組んでいくのか、計画や方向性を問う。

片岡町長

地域住民が支え合い、暮らし続けていけるよう、佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、さまざまな対策を講じている。

一次産業の振興は基より集落活動センターの設置、地域おこし協力隊による担い手の確保や移住・定住の促進、ぐるぐるバスによる移動手段の確保などは、一定の成果があった。

しかし、若い世代が働く環境が整っているとはいえず、若い女性の流出が少子化の要因の一つになっている。

今後においては、子育て支援を含め若い世代が生活し続けていくことができるよう取り組みを進める。

岡田まちづくり推進課長

「高知県中山間地域再興ビジョン」は、県が中山間地域の10年後に目指す将来像を実現するために策定するもので、この

ビジョンは「若者を増やす」「くらしを支える」「活力を生む」「しごとを生み出す」の4つを柱とし、将来ビジョン実現に向けた4年間の行動計画と成果を客観的に評価する指標のKPIを示すものとなっている。

県は、特に若者の県外流出が顕著な中山間地域の若者人口増加対策を強化することなので、県や近隣町村とも連携を図り対策を講じていく。

さらに、この高知県が策定する「中山間地域再興ビジョン」の進捗状況を注視し、今後進める事業に活かしていく。



集落活動センターくろいわ

問 伊藤蘭林生誕地へ続く町道赤線道の舗装

答 地元自治会へ相談させていただく

問 文教の町の原点ともいえる伊藤蘭林先生の生誕地が東元町にある。観光での訪問や受験などの機会に多くの皆さまが訪れるなど、素敵で大切な資源である。

地元から、生誕地へ続く道が山からの雨水や湧水などでぬかるんでいて、訪れた皆さまが常に歩きにくい状態が発生しているが、対応できないかとの要請がある。

資源が埋もれてしまわ



舗装を!

問 どのように舗装などの対応を伺う。

吉野建設課長

伊藤蘭林先生の生誕地、目細谷に現在顕彰碑が建てられている。牧野富太郎博士も通っていたと言われている。

この顕彰碑に続く道は赤線道であり、町が管理する法定外公共物となっている。

今回のケースの、ぬかるんだ場所の整備につい

では、材料支給での対応が可能か、町で整備するのも含めて、地元自治会へ相談させていただく。

その他の質問

・関西・高知経済連携強化戦略への町の取り組み



岡林 哲司 議員

岡 本年、町内の保育園でゼロ歳児の受け入れができないという事例が発生した。
町として少子化対策と矛盾する。改善策はあるか。町として育休期間の延長や、経済的な支援ができるのか。

問 少子化対策と保育環境について

答 県の取り組みと連携し対応していく

岡崎健康福祉課長 全国的に保育士不足、毎年4月に何とか配置基準数を確保している現状である。
ゼロ歳児の受け入れは年度途中からが多く、今年調整が難しかった。
国への更なる保育士待遇改善の要望や、高知県への取り組みとも連携し、子育てしやすい環境づくりをしていきたい。

問 道の駅、現場の声聞こえているか

答 町か、運営か整理し改善していく

下八川産業振興課長 現状商品開発は行っていない、地域より強い要望があれば予算化も含め検討していきたい。
設備的な不具合もあり、運営側との話し合いで改善した部分と、正式に担当課まで上がっていない事案もある、町が改

岡 佐川町特産物の開発計画について、今は売り場である道の駅で市場調査しながら開発できる、継続的な取り組みを。
道の駅開業より半年、実際に施設を利用する現場の声が届いているか。冬の日差し対策、イトインスペースの不足、店内が暗い、おもちゃ美術館の不便な点など、運営財団の代表理事として副町長がしっかりと現場側で町と交渉する役割を果たすべきでは。
また整備中のインクルーシブ遊具公園に少なくとも1つ車いすで利用できるトイレの設置が必要では。



田村副町長 駅長を中心にして話をする場を設けることは重要だと考える。定期的な会議を持ち記録をし、町と協議することを検討したい。
下八川産業振興課長 遊具公園にトイレを作れば維持費が必要。いろいろ意見を聞き、今後整備が必要ということであれば検討したいと思う。

問 地元の若者の雇用を生む町独自の制度を

答 県のビジョン注視し、環境づくり考える

岡 地元若者が多く出ていくなか、地域おこし協力隊が活躍している。町独自の制度として、同条件で数名雇い、独立のサポートまでする制度をつくらせてはどうか？
岡田まちづくり推進課長 現時点では財政面の事も含め難しい、県の中山間再興ビジョンに注視し、議員提案の事業も含め若者が働く環境づくりを考えていきたい。



若者が住みつづけられるまちへ

その他の質問
・JR佐川駅無人化、駅周辺の活用計画は
・らんまん終了後、植物ガイドの今後は
・ブラジル移民の父水野龍氏の顕彰を
・野良猫の避妊・去勢補助事業について
・子どもと教職員の健康的な学校環境について
・道の駅の中泊利用について



43名の出席者に

にてアンケートを実施しました。

Q2. 佐川町議会議員が 何人居るか知っていますか？

知らないと答えた人の中に
予想で「14人」と答えた方が
1名いました。
「10人」と予想した方が最も多く
「30人」と答えた方も。

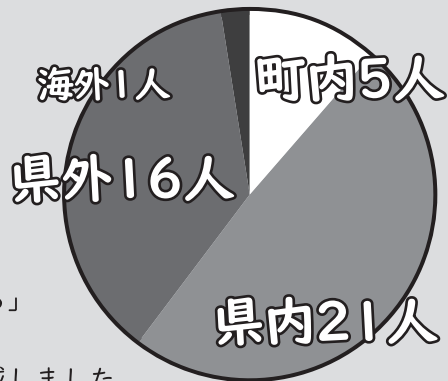
A. 現在は14名です。

※来年度以降に向け、定数削減に
ついては議論されています。



Q3. 将来何処で暮らしたいですか？

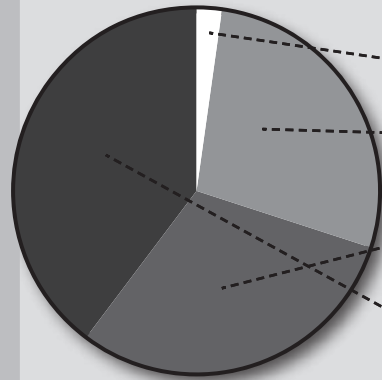
昨年同様、
町内・県内という答えは
女性の方が多かったです。
「仕事が無いので、県外へ出る」
という意見もありました。
昨年より「町内」の答えが半減しました。



祝 二十歳の集い

昨年に引き続き、令和6年 佐川町二十歳の集い

Q1. 佐川町議会だよりを
読んだことがありますか？



- よく読んでいる 1人
- 読んだことはある 12人
- あるのは知っているが読んでいない 13人
- 見たこともない 17人

佐川町議会議員として二十歳の集いの式典にご招待頂きました。昨年に引き続き、式典前に二十歳を迎えられた皆さんにアンケートにご回答いただきました。

本年、佐川町が招待した対象者は144名、その7割程の参加者のうち、43名の方に伺いました。昨年同様、アンケート結果は議会としては大変厳しい状況です。

二十歳を迎えた皆さんが思い描く未来に佐川町がどの様に映っているのか。また、若い世代に議会の役割や、活動を認知頂く為の接点をもっと必要だと感じました。



高吾北広域議会

11月27日、第4回定例会が開催されました。

提出された議案は、人事院勧告による職員給料表等の改正案など条例案3件、補正予算案3件で、いずれの議案も満場一致で可決されました。

小田組合長の諸般の報告では、もみじ荘（あがわ荘）の令和7年度の統合について、もみじ荘・あがわ荘に入所されている方に希望転居調査を行い、順次ご希望の組合施設等へ転居していただいている、とのことでした。

質 疑

岡坂本玲子議員（佐川町）もみじ荘とあがわ荘の統合により職員数や経費はどうか。

谷内事務局長

職員数については、配置基準に沿って今後の実績により減員するが、現

状でははつきりとした数を出せない。

経費の削減については、年間5千万円を超える減額を見込んでいる。



日高村佐川町 学校組合議会

12月15日、議会が開催されました。議案は日高村佐川町学校組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例や一般会計補正予算についての2件で、全員賛成

で可決されました。また人事案件が2件提出され、監査委員及び教育委員に日高村から各々一名が選任されました。いずれの人事案件も満場一致で可決されました。



町村議会議長 全国大会

11月29日、第67回町村議会議長全国大会が東京のNHKホールで開催されました。

大会では、低額な議員報酬の改善、政治分野の男女共同参画の推進、議会のデジタル化への支援など環境整備の改善を求める要望が採択されました。

また緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある案件として、少子化対策の推進に係る特別決議を含む3つの案件が、満場一致で決定されました。

併せて農業・林業・漁業の振興対策の強化や地域保健医療の向上などを国に強く要請する決議が採択されました。

大会終了後、フリーキャスターであり、事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による「地域から輝く日本へ」と題した講演がありました。

今月の表紙

姉妹都市提携35周年を迎え、今年1月24日、26日、北見市辻直孝市長、飯田修司議長はじめ、執行部や市民代表6名を含む17名の視察団が来訪されました。24日には歓迎交流



おもちゃ美術館にて

あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ



そのまま粗大ごみとして出せるようになりました！

スプリングが付いた家具をそのまま粗大ごみとして出せます。

問 スプリング家具の粗大ごみ扱いの周知は
2022年6月議会一般質問

スプリング入り家具のゴミ出し受入れ変更と、ゴミ出しチケットの有効期限の変更の周知をどうするか。
(山本和輝議員)

答 ホームページや広報紙等で周知する

どうなった

スプリング家具をそのまま粗大ごみとし出せる。ゴミ出しチケットの有効期限は、1週間から1カ月とした。

あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月1日(金)午前9時開会予定です。傍聴においでください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴席に入場いただける人数を制限する場合があります。



編集後記

このたび、広報編集委員長としての重責を担うことになりました。新年早々に能登地方で震災があり、ますます議会として業務継続計画策定の必要性を感じました。任期後半の二年間も5名の委員で協力し、誌面の刷新と読みやすさの向上を目指します。町民の皆様へ価値ある情報を届け、皆様に「読みたい」と思っていただける議会広報紙を作り上げることをお約束します。皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

岡林哲司

議会広報編集委員会

委員長	岡林 哲司
副委員長	山本 和輝
委員	橋元 陽一
委員	齋藤 光
委員	田村 幸生

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

ちいけで がんばる

ようこそ!



今回は、1月22日に広島県からのお客さまを迎えて開催された、佐川町商工会女性部の観光おもてなし交流事業に同行取材しました。女性部長の川崎まりさんにインタビューしました。



佐川町商工会女性部

観光おもてなし交流事業

町外・県外のお客さん達との交流を楽しみながら。

「おもてなし交流事業を始めたきっかけを聞かせてください。」

NHK朝ドラ「らんまん」の放映が決定した令和4年7月頃から、全国商工会女性部連合会のおもてなし交流事業に参加して活動を始めました。

おもてなし事業は、全国の商工会女性部員を対象とした事業で、参加する女性部員に対し一人あたり千円の助成金が支給されるので、来客者のお土産代やまち歩きガイド料に活用しています。

「どのような活動を行っているのですか?」

訪問団体の来町の日程が決まれば女性部全員に連絡して、日程に参加協力できる部員が集まり、

対応するようにしています。

来町された当日は、上の観光駐車場でお迎えし、上町エリアを徒歩で巡り案内をしています。



「おもてなし交流事業実施の件数や人数は?」

令和4年は、県内の4商工会が来町され、人数は59名でした。令和5年は県内から6商工会、人数は61名、県外から7商工会、人数は129名でした。県外は岡山県、香川県などから来町されました。

「お客さまからの、おもてなしの感想・リアクションは?」

とても感動して喜んでいただいています。

お客さまの中には、「女性部の気配りの行き届いた心温まるおもてなしに感激した」と涙を流される方もいる程です。

また、お土産と一緒にお渡しする女性部手作りの新聞パックは、お客さまにとっても好評です。



「観光おもてなし交流に参加して楽しいと感じることは?」

観光客の皆さまをお迎えて、佐川町の歴史や文化をお伝えしながら、楽しい会話や交流ができることです。

佐川町商工会女性部と一緒に「おもてなし活動」をしませんか?



現在の女性部員数は32名です。年間を通じて様々なイベントに関わりながら部員同士のつながりを深め、地域の皆様と一緒に元気に活動しています。

お問合せ 佐川町商工会女性部担当竹村まで
Tel 22-10053

あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている「組織やグループ」をぜひ紹介下さい。